



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2022年 3月10日

日本鉄道労働組合連合会

JR西労組 第5回団体交渉

基準昇給の完全実施を判断！！

これまでの協議経過を踏まえ、改めて要求実現を訴える！

最終回答については、3月16日に行うよう要請！

JR西労組中央闘争委員会は3月9日、2022年春季生活闘争の第5回団体交渉を行い、再度会社に対して「年度初における基準昇給の完全実施」を求めるとともに、ベースアップの実施について協議を行った。

冒頭、中央闘争委員会は改めて会社に対し、「年度初における基準昇給の完全実施」について「厳しい経営状況の中、慎重な判断が必要なことは理解するが、これ以上、組合員に不安を抱かせないためにも早急に回答すべきである」と強く主張し、会社の見解を質した。これに対し、会社は「昨年同様、慎重に判断することには変わりはないが、賃金制度における基準昇給の位置づけや貴側の主張も踏まえ、年度初に実施できるよう検討を進めている」と述べた。この回答を受け、中央闘争委員会は年度初に基準昇給が実施されるものと判断した。

続けて、ベースアップの実施について、中央闘争委員会は「コロナ禍の不安の中、組合員はエッセンシャルワーカーとして日々奮闘しているが、我慢も限界である。離職防止、人材確保の観点からも『賃金の底上げ』、『人財への投資』は絶対に必要である」と強く訴えた。一方、会社は「厳しい経営状況において、中長期的な会社の将来展望を描く中、人財が最も重要であることは同じ認識であるが、ベースアップの実施は、長期的に経営に影響することからも非常に厳しいと認識している」と、終始厳しい姿勢を崩さなかった。

最後に、中央闘争委員会は、最終回答について、連合が設定した先行組合回答ゾーン内の3月16日に行うよう求めた。昨年に続く厳しい交渉環境の中、2月4日の要求書の提出以降、組合員の雇用と生活を守ることを最優先としたうえで、「人財への投資」を実現すべく、精力的に団体交渉を積み上げてきたが、いよいよ来週には、約1カ月間の闘いのヤマ場を迎えることとなる。